

施工前の注意事項

- ・施工前に安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。
- ・注意事項は安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- ・施工後は正常に動作することを確認してください。



……「注意」この指示を無視して誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があります。



……このマークは、「接触禁止」の内容です。



……このマークは、してはいけない「禁止」の内容です。



……このマークは、必ず実行していただく「強制」の内容です。



……このマークは、「分解禁止」の内容です。

⚠ 取付に関する注意

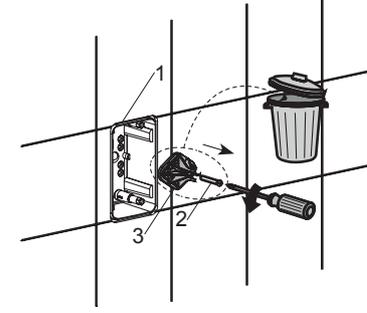
	<p>施工・交換・移設は、必ず専門の配管工業者に依頼してください。誤った施工は、落下・漏水・壁の破損の原因となります。</p>		<p>既設配管内のゴミや砂を十分にフラッシングしてから接続してください。異物が残っていると、目詰まりや漏水の原因となります。</p>
	<p>モジュールバルブは、浴室用の標準給水圧範囲内での使用を前提としています。極端な高水圧の場合は減圧弁等による調整が必要です。</p>		

⚠ 使用に関する注意

	<p>乳幼児・高齢者・体調のすぐれない方が使用する場合は、必ず保護者・介助者が温度設定を確認し、安全な温度に調整して使用してください。</p>		<p>シンナー・塗料・強酸／強アルカリの薬品などを長時間ためたり放置したりしないでください。表面仕上げの劣化や変色の原因となります。</p>
	<p>体重をかけたり、掴まって立ち上がったり、子どもがぶら下がったりしないよう注意してください。バルブや配管の破損・漏水・けがの原因となります。</p>		

必要工具および現場手配品

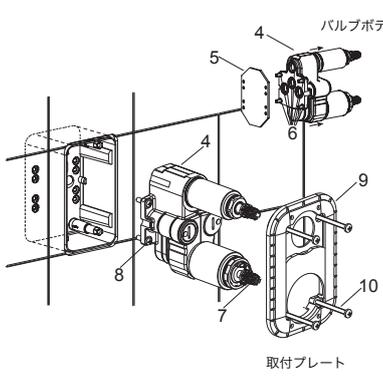


<p>⚠ 警告: 人的傷害または物的損害の危険があります。 不注意に取り扱ふと、製品が破損したり、欠けたり、怪我をする可能性があります。</p> <p>地域の配管規制に従ってください。</p>	<p>お知らせ 説明で使用している図が、一部本製品の形状と異なります。下記の寸法図を参照して該当寸法をご確認ください。</p>	<p>1 モジュール用埋込部の取付 モジュール用埋込部 (1) を取り付けるにはK-98699T-NAの取り付け寸法を参照してください。</p> <p>壁が完成したら、壁から突出している取付ボックスの部分を切り取り、ドライバー (2) でネジを緩めて、保護部品 (3) を取り外します。</p> 
---	--	--

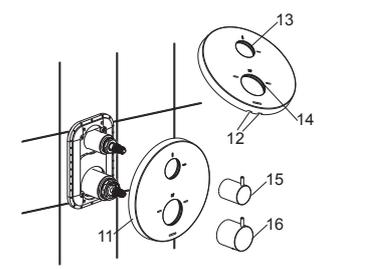
2 バルブボディの取付
バルブボディ (4) の下部保護プレート (5) を取り外します。
注意: 下部Oリング (6) を紛失しないでください。

取り付け中はバルブシャフト (7) を回転させないでください。
バルブボディの下部の穴とマウントボックスの下部の穴を合わせ、バルブボディをマウントボックスに取り付け、ネジ (8) を締めます。

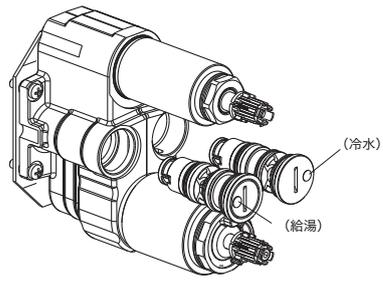
取付プレート (9) をバルブ本体に挿入し、壁に接触するまで押し戻します。取付プレートをネジ (10) 長さ50mmで固定します。



3 パネルの取付
パネル (11) を、スロット (12) を下にしてバルブ本体に取り付けます (注意: 穴の中のOリング (13, 14) を紛失しないように注意してください)。壁に接触するまで押し戻します。ハンドル (15, 16) を、ハンドルを垂直上向き、またはレーザーマークを上向きにしてバルブシャフトに取り付けます。



給湯・冷水管の取付位置
※設置時に給湯管と冷水管が逆になっていることが判明した場合は、給湯栓と冷水栓の位置を入れ替えることで、パネルを正常に動作させることができます。図をご参照ください。



温度制御バルブの洗浄
給水が硬水の場合、または長期間使用された場合、サーモスタートバルブのフィルタースクリーンにスケールや不純物が詰まり、流量が低下することがあります。フィルタースクリーンを清掃するには、以下の手順に従ってください。

給水システムを止め、流量調整弁を開いた後、サーモスタートバルブの分解に進みます。サーモスタートバルブは繊細な部品ですので、取り扱いには十分ご注意ください。

分解する前に、ハンドルまたはレーザーマークがパネルの数字37と上向きになっていることを確認してください。サーモスタートハンドルアセンブリを取り外し、圧力リング、ネジ、リミットアセンブリを取り外します (図1)。サーモスタートバルブを慎重に取り外し、熱い酢で洗浄します。

清掃後、バルブシャフトの外側の歯にある黒い点のマークが、隣接するプラスチックスリーブの黒い線と一致していることを確認してください。リミットアセンブリをサーモスタートバルブに取り付け、プラスチックスリーブの位置決めポストがサーモスタートバルブのリミット溝に埋め込まれるようにします (図2)。

次に、プラスチックスリーブの位置決めポストをバルブ本体の内孔の溝に合わせ (図3)、サーモスタートバルブを取り付け、圧力リングとネジを締めます。サーモスタートハンドルアセンブリを元に戻し、ハンドルまたはレーザーマークをパネルの数字「37」に上向きに合わせます。

